

《別 紙》

1. 開催年月日 令和7年9月29日(月)開催
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 4名 下川隆委員長 松川紀代実委員 山本恒安委員 野澤秀夫委員
欠席委員 3名 賀陽智之委員 小松真弓委員 村田志保委員
(事前に意見書提出あり)

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 高橋絵里(制作室)

4. 議 題

審議番組 : Callin Tuesday!! 毎週火曜日19:00~20:00まちテナスタジオより生放送
西東京市の片隅にひっそりと佇む、とある架空の弱小出版社の架空の弱小雑誌
「週刊Callin Tuesday!!」編集部。この番組では『笑いたっぷりの雑誌編集会議の様子』を
お届けします。どこからともなく舞い込むのは、西東京市内外在住のフリージャーナリストからの
“耳寄りなタレコミ”。地域密着の情報から、音楽、エンタメ、野球の話題などなど
ありとあらゆるジャンルの情報を、編集部のデスク達が面白おかしく紹介していきます。

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・全体的に明るく楽しくフレッシュで良い。
- ・若い人達が「お盆の話」をしているのがとても新鮮だったが、地元の田無盆だけ
一般のお盆と時期がずれている事がもう少し詳しく話題に入っていたらよかった。
そちらの方が田無の魅力についてリスナーに伝わったのでは。
- ・話の運びや間の取り方がとても上手だった。
- ・森鷗外の話があったが地元の書店とコラボが出来たら面白いのではないのか。
駅前スタジオで聞いている人がラジオを聞いた後に書店へ行くなど、街を巻き込めたら良いのではと
思った。
- ・「心霊」という言葉が使われた場面があり、ご先祖様に関わる話題として使われる言葉としては
少し寂しい表現と感じる部分があった。
- ・リスナーが番組に参加できている感じがより、より愛着がわいてくるのではないか。
こちらも内容を聞きつつ想像して「え、そうきたか」など考えた。
リスナーからのコメントを丁寧に扱っていて良かった。
- ・数十年前にも同じような番組を聴いたことがあり、内容を今でも覚えている。
今はリスナーとの電話でのやり取りは難しいと思うが、何かおもしろい企画ができるのでは。
- ・万人受けする番組よりターゲットを絞っているのが、年齢層によってはついていけないが
若いリスナーが参加できる番組としては良い。

局の回答

- ・ 大学生の番組「ミッドナイトスクール」を卒業した新卒社会人や現役大学生による7月から始まったばかりの番組です。彼らからこの番組をやりたいというリクエストを受けて若者による若者のためのバラエティ番組で、大喜利ネタへのメッセージなども多く寄せられてリスナー参加型になっています。
- ・ 出演だけでなく企画、制作、音響技術もすべて番組の若いメンバーで行っています。開局して28年が経ち局全体の番組出演者や制作スタッフの平均年齢が上がってきている中で、若者が自由にチャレンジできる枠として局としても応援しているし頑張ってもらいたいと思っています。放送内にとどまらずに、町に出て人とのコラボレーションもしてもらいたいとも思っています。なお、リスナーメッセージは毎回10～15通くらい寄せられています。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項
なし